

スチュワードシップ活動

No.2020-7

2020年4月14日

責任投資推進部

機関投資家協働対話フォーラム 応援メッセージ
「パンデミック収束後の世界変化を見据えた、積極的なガバナンス発揮のお願い」の公表

- 第一生命保険は、「機関投資家協働対話フォーラム」に参加している機関投資家7社の連名で、足元の新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、企業に対し、以下の応援メッセージを公表しておりますのでお知らせ致します。

機関投資家協働対話フォーラムは、長期保有の投資家である、企業年金連合会、第一生命保険、三井住友DSアセットマネジメント、三井住友トラスト・アセットマネジメント、三菱UFJ信託銀行、明治安田アセットマネジメント、りそなアセットマネジメント（50音順）のフォーラム参加7社とともに、新型コロナウイルスにより厳しい経営環境に直面し、奮闘されている企業の皆様への応援メッセージとして、以下のお願い事項をお伝えします。

[取締役の皆様へのお願い]

多くの企業において、パンデミックにより大きな経営影響が出ており、まさに有事と言える状況です。このような有事の時こそ、取締役の皆様のリーダーシップと洞察力が必要とされる時期です。世界的な緊急事態を受け、経営陣の皆様は当面の対応に追われる時ではありますが、短期的な課題だけでなく、パンデミック収束後に起こりうる中長期的な経営環境の変化にも目を凝らす必要があります。パンデミック収束後は、世界中の人々の意識や行動の変化が想定されます。保健衛生への意識の高まりはもとより、リモートワーク、オンラインイベント、オンライン学習や遠隔医療など、テクノロジーを今まで以上に活用した世界に大きく変化し、これに伴い事業環境も大きく変化する可能性があります。こうした危機が、形を変えて過去何度も繰り返されてきた中で、欧米の企業はガバナンスを十分に効かせ、市場機能を活用し、新しい環境に適応して変化し、新陳代謝を遂げてきました。日本企業も、「以前の世界、会社に戻る」のではなく「新しい強靱な世界、会社を創る」ため、大胆な挑戦と改革をお願いいたします。

とりわけ、社外取締役の皆様には、事業活動に直接携わっていない客観的・大局的な視点で、かつ豊富な経験と高い見識をもつ社外役員ならではの視点で、パンデミック収束後の事業環境の変化、成長機会を見抜き、積極的なガバナンスの発揮をお願いします。長期保有の投資家は、危機をチャンスに変えようとする取締役の皆様を応援します。

以上

※こちらもご参照下さい(標題をクリック)

[「機関投資家協働対話フォーラム」が主催する協働エンゲージメント・プログラムへの参加](#)

[一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム ホームページ](#)